

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称	〔40〕 東京都台東区立池之端児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ					
(3)経営状況	(26年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,824,133,063円, 支出2,782,383,774円, 収支差額41,749,289円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区池之端2-3-3					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の乳幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日まで：午前9時半～午後6時 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日を除く) 一部開放：日曜日(第三日曜日を除く)・5月5日 午前9時半～午後6時					
(5)規模	RC3階建て 事務室・遊戯室・図工室・図書室・集会室兼音楽室・こどもクラブ室					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団及び個別の指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	37,416,000	31,549,000	29,977,000	32,370,000	33,936,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	37,416,000	31,549,000	29,977,000	32,370,000	33,936,000
決算	委託料	33,551,534	34,008,595	32,344,574	32,243,512	33,737,061
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	18,000	421,431	54,750
	管理経費	33,551,534	34,008,595	32,362,574	32,664,943	33,791,811
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
開館日数	日	335	334	333	334	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度	
利用者数	人	33,000	26,995	31,557	36,861	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

園児タイムの充実（毎週実施）、定期的な茶話会での参加者のニーズ把握により、プログラムを工夫したことが利用者の増加につながった。また、小学校高学年を対象としたスポーツ行事を、学校行事に合わせて毎月実施したことも増加となった。
 地域懇談会では、小・中学校、幼稚園、保育園、民生・児童委員、コミュニティ委員会等の地域の方々との今後の児童館活動についての意見交換することで、地域との関係づくりに努めた。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [3]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	職員が館の課題について話し合い、中高生の利用者を増やすための、小学校高学年向け行事を見直す等の改善を図った。
(2)施設の維持管理	A	業務基準に基づいた各種保守点検・清掃等を適切に実施している。また、感染症の流行時期は、こまめな遊具の消毒、換気を行い、感染予防に取り組んでいる。
(3)利用者の満足度	S	日々の利用者との丁寧な関わりを通じ、利用者ニーズの把握に努めている。ニーズに対応したプログラムの工夫や、高学年対象のスポーツ行事を定期的実施したことにより、利用者数は増加した。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進するほか、消耗品の一括購入や長期契約により経費の効率化を図っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	数年後の中高生の利用を目指し、小学校高学年を対象にした活動を強化するなど、計画的な取組みを行っている。また、利用者との丁寧な関わりや事業の工夫により、利用者数は増加している。
-----------	---

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

地域にある身近な児童健全育成の拠点として、幅広い世代が安心して過ごせる居場所での活動の充実を図っていく。また、広く地域と関わり、共に子供の育ちを考える地域との関係づくりに努めていく。